



©Successió Miró Archive

展示室でのルールは守ってね！

1 作品にはさわらないでね

3 走らずに、ゆっくり歩こう

5 メモするときはえんぴつを使おう



2 お話するときは小さな声で

4 柵のなかには入らない



会期 2025 年 3 月 1 日 (土) ~ 7 月 6 日 (日) 9:30 ~ 17:30 金曜日は 20:00 まで (入室は閉室の 30 分前まで)
休室日 月曜日、5 月 7 日 (水) ※ただし、4 月 28 日 (月)、5 月 5 日 (月・祝) は開室
主催 東京都美術館 (公益財団法人東京都歴史文化財団)、ジュアン・ミロ財団、朝日新聞社、テレビ朝日
協賛 DNP 大日本印刷、竹中工務店、関電工
協力 スペイン大使館観光部、カタールニャ州政府観光局、日本航空、日本貨物航空、
ルフトハンザ カーゴ AG
特別協力 FC バルセロナ
後援 スペイン大使館、インスティトゥト・セルバンテス東京、J-WAVE
問い合わせ 050-5541-8600 (ハローダイヤル) <https://miro2025.exhibit.jp/>

Fundació Joan Miró
Barcelona

東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

ミロってどんな人？

ジュアン・ミロは 1893 年にスペイン・バルセロナで生まれました。幼い頃から絵を描くことが好きでしたが、時計職人のお父さんの言いつけで、10 代後半から薬局の会計係として働きはじめました。ところが、一日中机に座って仕事することが苦手だったミロは病気になってしまいます。病気を治すために、スペインの田舎町モンロッチの別荘で過ごし、そこでようやく画家になるスタートを切ることができました。この頃は身の回りの風景や日常のものを色々な表現で描くことに挑戦しています。



©Successió Miró Archive

ミロの目になってみよう！



《ヤシの木のある家》1918 年、油彩／カンヴァス、65 x 73cm
国立ソフィア王妃芸術センター、マドリード
Successió Miró Archive

ミロは描く対象をととてもよく観察していました。これはミロが 25 歳の時の作品です。きらりと光る建物の窓や、手ざわりが感じられる壁、いろいろな色の屋根瓦、細かく描かれた小さな植物…、一つひとつをじっくり観察してみよう！

すみずみまで
よく見てみよう

終わらない挑戦！

80 才を超えてもミロの作品を作るエネルギーは弱まりません。自由な精神で新しい表現に挑戦し続けました。《焼かれたカンヴァス 2》はカンヴァス（絵を描くために使う布）に絵の具をたらして、踏みつけて、ナイフで切って、最後にはガソリンをしみこませて火をつけるという今までにない方法で作られた作品です。

360 度ぐるっとまわって見てみよう！
どっちが表でどっちが裏かな？



《焼かれたカンヴァス 2》1973 年、アクリル／カンヴァス、130 x 195cm、ジュアン・ミロ財団（寄託）、バルセロナ
Fundació Joan Miró, Barcelona. On loan from a private collection. Successió Miró Archive



ミロの代表作 《星座》シリーズ

ミロは身近なものをじっくり観察した上で、円や線を組み合わせながら星や月、太陽、女性、鳥などの自分自身の世界を表現するオリジナルの記号を生み出します。その記号が完成するのが、1940年46才から描きはじめた《星座》シリーズです。ちょうどこの頃、スペイン内戦や第二次世界大戦が始まりました。ミロは命の危険を感じながら作品を描き続け、23点のシリーズを完成させました。今回はそのうちの3点を展示しています。

あ みょうじょう 明けの 明星

神秘的な世界の中に、月や星などが記号的に描かれています。

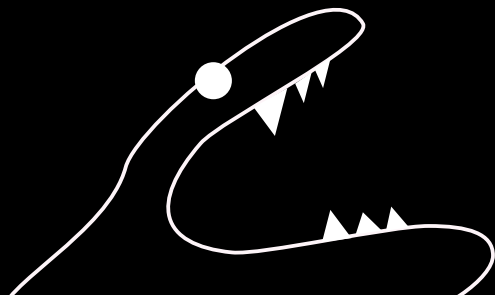


黒いページでは《星座》シリーズのことが書かれています。



POINT 1

このシリーズを作っているとき、ミロは家族と一緒にヨーロッパ各地を人目につかないように逃げなくてはなりませんでした。同じサイズの小さな紙に作品を描いて、移動するときはカバンに入れて大事に持ち運びました。

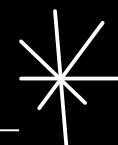


女と鳥

月や星だけでなく、黒い線でつながる生き物のような形や、黒・白・赤・青・黄色が組み合わさり、お互いに響き合っています。ミロは音楽からもインスピレーションを受けて作品を作りました。

POINT 2

作品名にも注目！
それぞれの作品名からイメージを広げて、もう一度作品をじっくりみてみましょう。



りんこう あと みちび カタツムリの燐光の跡に導かれた夜の人物たち

ぎょろりとした目があちらこちらに！
大きな口を開けて舌を出した怪物もいます。ここは、にぎやかで楽しそう？暗くて怖い？やわらかい雰囲気？どんな感じがしますか？

POINT 3

他の作品の中にも同じような記号がたくさんあるよ。展示室をまわりながら探してみよう！



左：《明けの明星》1940年、グワッシュ、油彩、パステル／紙、38 x 46cm、ジュアン・ミロ財団、バルセロナ Fundació Joan Miró, Barcelona. Gift of Pilar Juncosa de Miró. 中央：《女と鳥》1940年、グワッシュ、油彩／紙、38 x 46cm、ナーマド・コレクション Successió Miró Archive 右：《カタツムリの燐光の跡に導かれた夜の人物たち》1940年、水彩、グワッシュ／厚い水彩用網目紙、37.9 x 45.7 cm、フィラデルフィア美術館 Philadelphia Museum of Art: The Louis E. Stern Collection, 1963-181-46 Successió Miró Archive ©Successió Miró / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025 E5978